

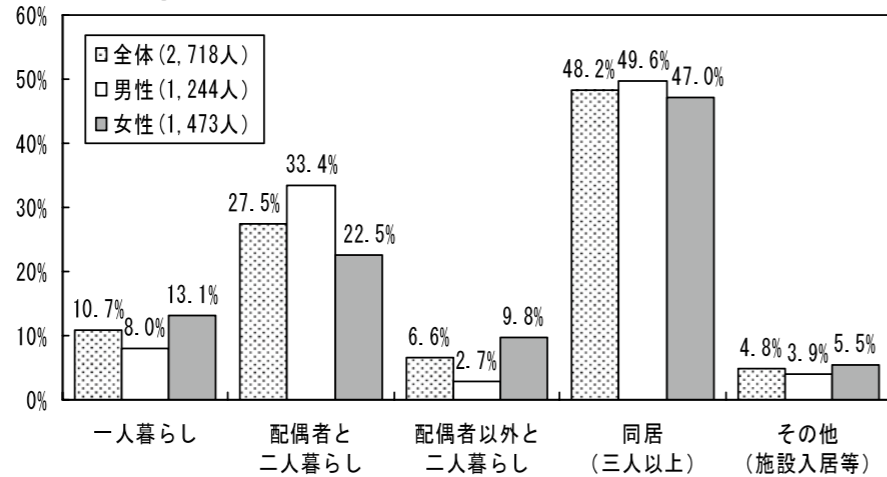
高齢者日常生活圏域 ニーズ調査結果

本町では、第5期介護保険事業計画を策定するにあたり、地域の高齢者の実態やニーズ、課題を把握するため平成23年3月から4月にかけてニーズ調査を行いました。その結果をお知らせします。

配布数	4,779件
回収数	2,742件
有効回収数	2,718件
有効回収率	56.87%



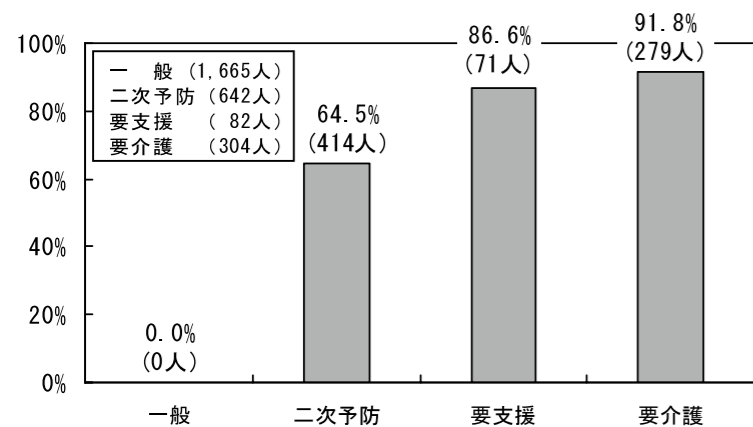
世帯構成



【既往の病気】

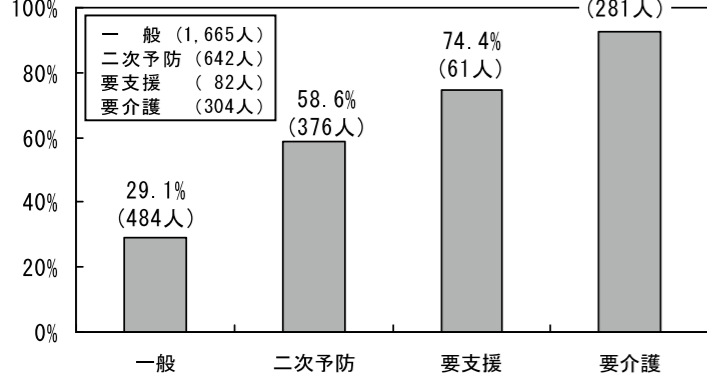
「高血圧」がもっとも多く、44.5%を占め、次いで「目の病気」の28.6%となります。「筋骨格系」、「糖尿病」、「心臓病」と続きます。

状態別運動機能該当者割合



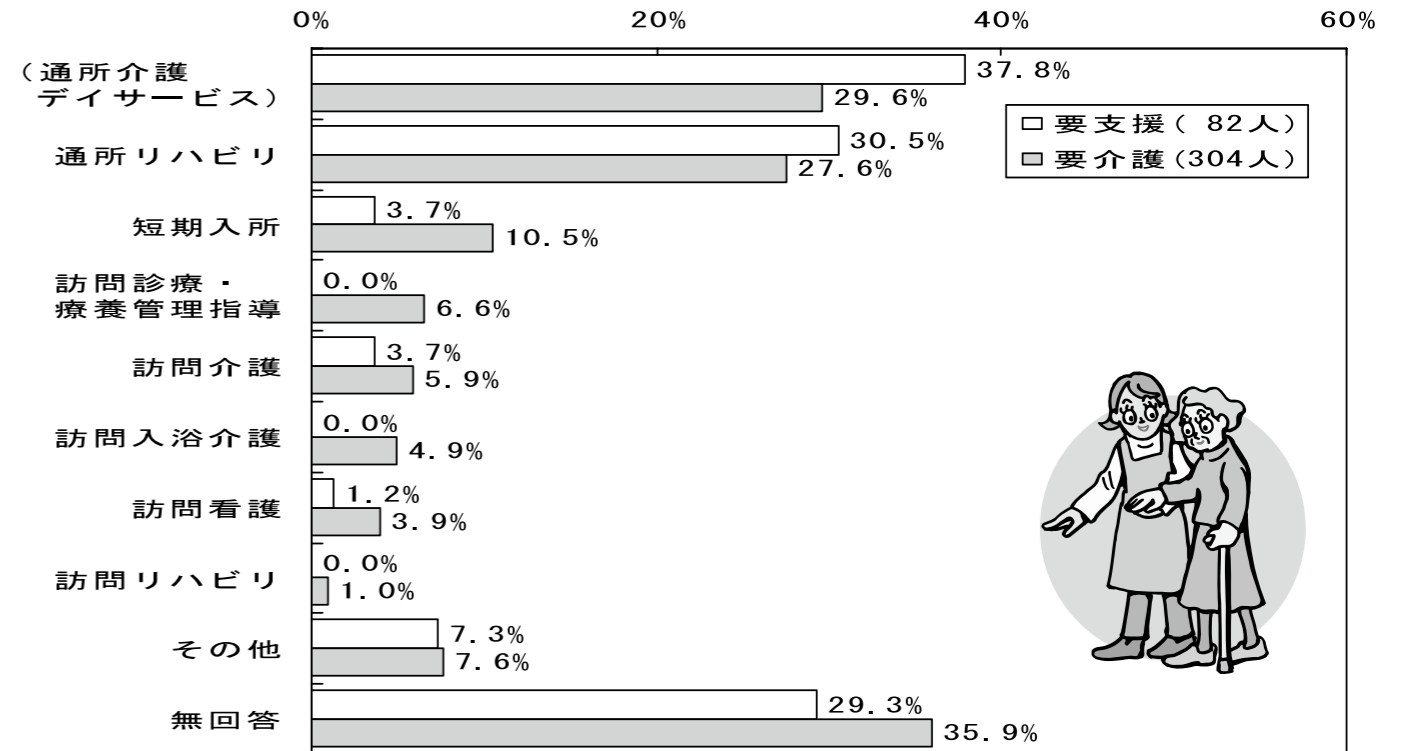
回答者の中で、将来介護認定に繋がる二次予防の対象者が64.5%となっています。

状態別認知症予防該当者割合



認知症予防の該当者の割合は、回答者全体では44.4%と、他の項目に比べて高い割合となっており、認知症予防対策の取り組みの強化を図る必要がうかがえます。

利用している在宅サービス（要支援・要介護認定者）



【介護保険サービス利用状況】

在宅サービス

1位 通所介護(デイサービス) 2位 短期入所(ショートステイ)

訪問サービス

1位 居宅療養管理指導(医師や薬剤師等の往診) 2位 訪問入浴介護

状態別にみると、要支援認定者の48.8%、要介護認定者の85.5%が「介護・介助を受けている」と答えています。一方「介護・介助は必要だが現在は受けていない」と答えたのは要支援認定者で18.3%、要介護認定者で4.9%となっており、潜在的な介護ニーズがあるものと考えられます。

【将来介護されたい場所】

将来、介護されたい場所としては、「自宅」を希望する高齢者が43.9%、「施設など」を希望する高齢者が23.4%で、自宅希望者が多いといえますが、「無回答」が32.8%となっており、家族との関係など、様々な事情により判断がつかない高齢者が多いと推測します。

自宅希望者について、住宅の所有関係をみると「持ち家」が46.6%ともっとも高く、続いて「借家・借間」が34.8%、「その他」が24.1%の順となります。状態別に自宅希望者をみると、要介護認定者が32.6%ともっとも低く、一般高齢者、二次予防対象者、要支援認定者については、いずれも45%台の割合となります。

世帯構成別に自宅希望者の割合をみると、「一人暮らし」が33.9%ともっとも低く、「配偶者と二人暮らし」と「同居(三人以上)」が47%~48%台と高い割合となり、家族と同居している方に自宅介護の希望者が多くなります。

上記の結果は調査結果の一部で、調査結果全体はホームページに掲載しています。本町の高齢者の実態に合わせた介護保険サービスの提供、予防活動を展開していくために、計画を策定中です。

※一般…チェックリストで今のところ、特に問題無しと判定された方。
 ※二次予防…足腰の機能や、栄養面等の機能に低下している面があり、介護を予防する必要がある方。
 ※要支援、要介護…介護認定を受けてサービスを利用している方。

お問い合わせ：福祉部介護支援課介護支援係 ☎945-5013